**【届出書】添付書類一覧表（チェックリスト）（宅地造成又は特定盛土等）**

| **書類の名称** | **縮尺** | **内容等** | **備考** |
| --- | --- | --- | --- |
| □本チェックリスト | ─ | □該当する全ての□にチェックをして提出 |  |
| □届出書 | ─ |  | □【省令様式第19】 |
| □委任状 | ─ | □代理者氏名、住所及び電話番号、委任する内容、委任者の氏名、住所及び電話番号 | （参考様式）  ※代理人が届出手続を行う場合 |
| □土地の公図の写し | ─ | □方位、□縮尺、□施行区域の境界（赤枠） |  |
| □工事主に関する書類 | ─ | 個人の場合、以下の書類を添付  □住民票の写し又は個人番号カードの写し（表面のみ、個人番号を黒塗り） |  |
| 法人の場合、以下の書類を添付  □法人の登記事項証明書  □役員の住民票の写し又は個人番号カードの写し（表面のみ、個人番号を黒塗り） | □取締役（会社の場合）又は理事（その他の法人の場合） |
| □届出に係る土地及びその周辺の写真 | ─ | □届出に係る土地及び公道内から撮影可能な範囲で、土地の状況を明らかにするもの  □撮影箇所及び方向がわかる図面（地形図との兼用可）を添付  □他法令の許可等に基づく工事の場合、その許可等の内容が記載されている看板の写真 | □土地の全景（複数枚に分けて撮影したものも可。）  □土地の利用状況（空地、住宅地、原野等の用途がわかるもの）  □土地の高低差（接する道路又は隣地等との高低差を含む。）及び既存の擁壁等の構造物の状況（種類、形状及び高さ等がわかるもの） |
| □土地の求積図（実測図） | 指定なし | □届出に係る土地の求積に必要な寸法及び算式  □盛土又は切土をする土地の部分の求積に必要な寸法及び算式 |  |
| □土量計算書 | ─ | □盛土又は切土の土量の計算書 |  |
| □位置図 | □1/10,000以上 | □方位、□届出に係る土地の位置(赤枠)  □主要道路  □排水先の河川への経路  □学校、その他目標となる地物 |  |
| □地形図（現況図） | □1/2,500以上 | □方位、□地形（等高線）  □届出に係る土地の境界（赤枠） | □等高線は２ｍの標高差を示すもの |
| □土地の平面図 | □1／2,500以上 | □方位、□土地の境界線（赤枠）  □盛土（緑色）又は切土（茶色）をする土地の部分の色別  □崖、擁壁、崖面崩壊防止施設、排水施設、地滑り抑止ぐい、グラウンドアンカーその他の土留の位置  □道路の位置、形状、幅員、勾配及び記号  □縦横断線の位置と記号  □工区界、□地形（等高線）  □土地の地盤高及び面積 | □現況地形線は細く、計画線は太く表示  □断面図を作成した箇所に断面図と照合できるように記号を付す。  □のり面緑化工等の措置を行う必要がない場合は、その旨を付す。  □擁壁、崖面崩壊防止施設及び排水施設については、申請書と照合できるように番号を付す。 |
| □土地の断面図 | □1/2,500以上 | □盛土（緑色）又は切土（茶色）をする前後の地盤面  □擁壁、崖面崩壊防止施設、地滑り抑止ぐい、グラウンドアンカーその他の土留、崖の位置 | □高低差の著しい箇所について作成する。 |
| □排水施設平面図 | □1/500  以上 | □排水区域の区域界(赤枠)  □排水施設の位置、種類、材料、形状、内のり寸法、勾配、水の流れの方向  □吐口の位置、□放流先の名称  □排水施設の記号、□集水系統ブロック別の記号 |  |
| □崖の断面図 | □1/50  以上 | □崖の高さ、□勾配、  □土質（土質の種類が２以上であるときは、それぞれの土質及びその地層の厚さ）  □盛土又は切土をする前の地盤面  □崖面の保護の方法 | ※擁壁で覆われる崖面については、土質に関する事項は示すことを要しない。 |
| □擁壁の断面図 | □1/50  以上 | □擁壁の寸法及び勾配  □擁壁の材料の種類及び寸法  □裏込めコンクリートの寸法  □透水層の位置及び寸法  □擁壁を設置する前後の地盤面  □基礎地盤の土質  □水抜穴の寸法とその間隔  □基礎ぐいの位置、材料及び寸法 |  |
| □擁壁の背面図（擁壁の展開図） | □1/50  以上 | □擁壁の高さ、□水抜穴の位置、材料及び内径、□透水層の位置及び寸法  □前面及び背面の地盤線  □根入れ深さ | ※練積造擁壁の場合は擁壁の展開図とする。 |
| □崖面崩壊防止施設の断面図 | □1/50  以上 | □崖面崩壊防止施設の寸法及び勾配  □崖面崩壊防止施設の材料の種類及び寸法  □裏込めコンクリートの寸法  □透水層の位置及び寸法、  □崖面崩壊防止施設を設置する前後の地盤面  □基礎地盤の土質  □水抜穴の寸法とその間隔  □基礎ぐいの位置、材料及び寸法 |  |
| □崖面崩壊防止施設の背面図 | □1/50  以上 | □崖面崩壊防止施設の高さ  □前面及び背面の地盤線、□根入れ深さ | 以下について、必要に応じて記載。  □水抜穴の位置、材料及び内径並びに透水層の位置及び寸法 |